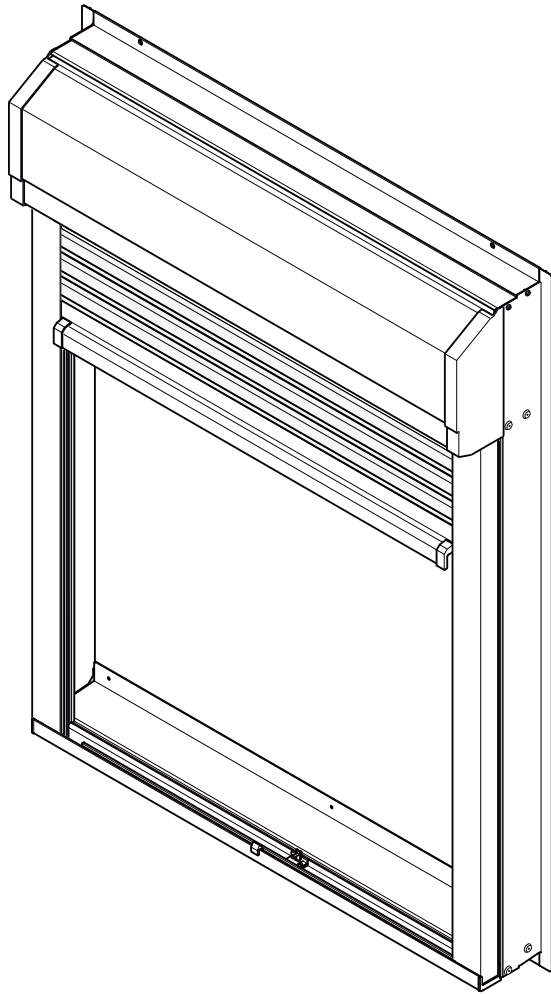


窓シャッター イタリヤ/クワトロ (電動タイプSSS仕様)

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2~4
注意	2
お願い	3
ご使用にあたっての留意事項	4
■ 各部のなまえとはたらき	5
■ ご使用前の確認事項	6
セーフティストップシステムとは	6
■ ワイヤレス壁スイッチのなまえとはたらき	6
ワイヤレス壁スイッチ	6
■ 操作のしかた	7
ワイヤレス壁スイッチの操作のしかた	7
■ 電池交換のしかた	7・8
1.電池交換時期	7
2.使用電池	7
3.交換のしかた	8
■ 幅木ロック機構の使い方	9
1.幅木ロックとは	9
2.幅木ロックの操作のしかた	9
■ 停電時開閉機構の使い方	10
1.停電時開閉機構とは	10
2.開閉のしかた	10
3.停電復帰後の操作のしかた	10
■ 点検とお手入れ	11・12
1.点検	11
2.セーフティストップシステムの作動点検	11
3.お手入れのしかた	12
■ シャッターが動かない場合	13
処置のしかた	13
■ 商品保証について	14

重要なお知らせ

ご使用前に

●安全のために、必ずお守りください。

「イタリヤ・クワトロ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。


- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「イタリヤ・クワトロ」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-4134-33

警告用語の種類と意味

※この章では、「イタリヤ・クワトロ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

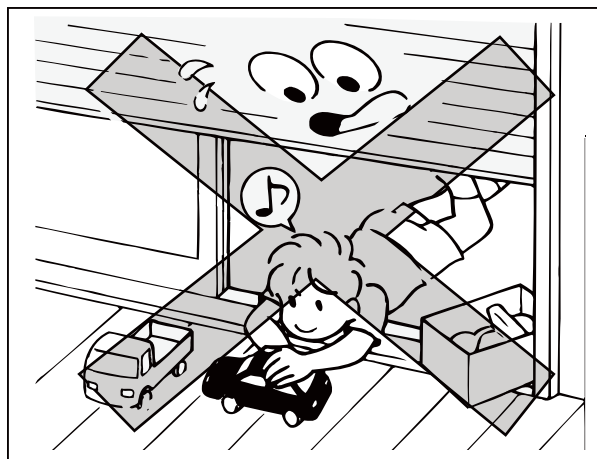
特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

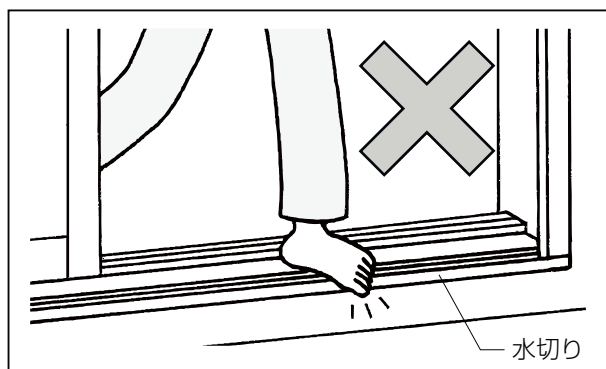
▲ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- 改造しないでください。特にモーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- セーフティストップシステムを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間にはさまれてケガをするおそれがあります。
- セーフティストップシステムの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどがありましたら、ワイヤレス壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。
- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- 「イタリア・クワトロ」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。



お願い

- 外開きサッシに取付けてある場合は、障子が閉まっていることを必ず確認してください。
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間動作が停止することがあります。（故障ではありません）10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
- シャッターは少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 「イタリア・クワトロ」を無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- おやすみ又は外出の際は、安全のため、「イタリア・クワトロ」を閉めて幅木ロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。
- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターの開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。
- シャッターボックスに、はしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。
- シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。又、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
- 「イタリア・クワトロ」が凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
- ワイヤレス壁スイッチは濡れた手で操作しないでください。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- 電波の強い地域では正常に作動しないおそれがあります。あらかじめご了承ください。
- シャッターのそばでトランシーバーなどの無線機は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
- シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
- 「イタリア・クワトロ」下部の水切り先端部に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



…ご使用にあたっての留意事項…

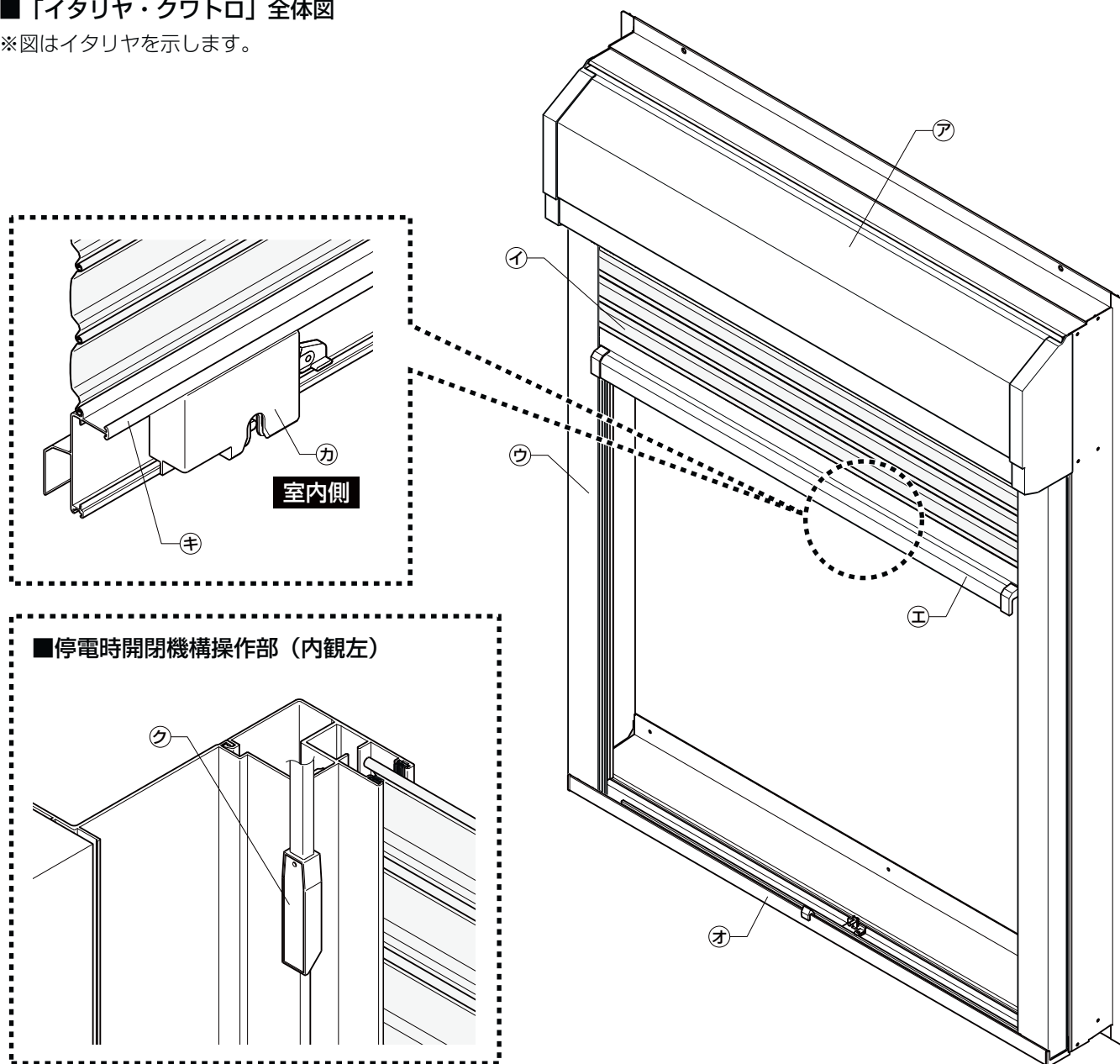
- ※「イタリア・クワトロ」を閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨が当たった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので安心してお使いください。
- ※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面についた水が内側につくためです。
- ※「イタリア・クワトロ」は、開閉途中で引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- ※シャッターが下降して、全閉位置で止まるとき、幅木が下枠に当たり少し反転して止まる場合がありますが、これは電動モーターが自動でストップ位置を確認する動作です。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。（シャッターの開閉動作60回ごとに、4回この動作となります。）
- ※「イタリア・クワトロ」を閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。
- ※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタツキ、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
- ※「クワトロ」の場合、換気スラットの通気口は閉めることができません。強風や雨の際は、必ず内側のサッシを閉めてください。風や雨水が室内に入ります。又、通気口から外の光が入りますので、遮光カーテンなどをご使用ください。

各部のなまえとはたらき

※「イタリア・クワトロ」本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

■「イタリア・クワトロ」全体図

※図はイタリアを示します。



●各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
ア	シャッターボックス (点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
イ	スラット	「イタリア・クワトロ」のカーテン部分です。
ウ	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
エ	幅木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
オ	水切り	「イタリア・クワトロ」底の部分で、雨水などを流します。
カ	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
キ	幅木手掛け	手動開閉のとき使用します。
ク	ハンドル (※1)	停電時開閉機構の操作用です。

(※1) イタリア・クワトロの一部サイズには、停電時開閉機構が付いていません。

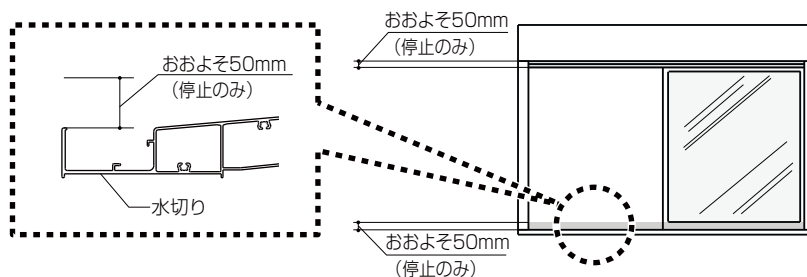
ご使用前の確認事項

セーフティストップシステムとは

- シャッター下降中、幅木が物をはさむとシャッターは停止(※)します。この機能をセーフティストップシステムといいます。
- ※セーフティストップシステムは、物をはさんだ場所で、その後の動作が異なります。下降開始後の約50mmおよび開口下部の約50mmの範囲は停止のみ、それ以外の範囲では開口上部約50mmまで反転上昇します。
- ※停電復帰後の4回の開閉動作中は、上下限停止位置の点検機能が働きます。点検機能動作中はセーフティストップシステムは全域で停止のみとなります。又、全閉位置で止まるとき、幅木が下枠に当たり少し反転して止まります。

お願い

- セーフティストップシステムは、一定の負荷を検出して停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、負荷を検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取り除くと、スラットがずり落ちてくる可能性がありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取り除いてください。



▲ 注意

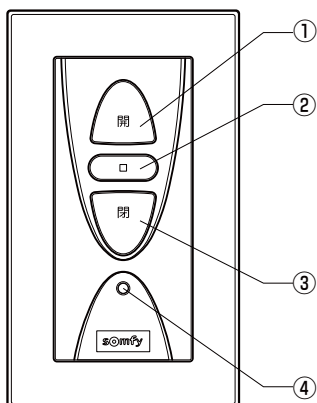
- 開閉の際は周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

ワイヤレス壁スイッチのなまえとはたらき

ワイヤレス壁スイッチ

※操作のしかたは、P.7「操作のしかた」を参照ください。

■ワイヤレス壁スイッチ



●ワイヤレス壁スイッチのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	シャッターが上昇します。
②	停止スイッチ	シャッターが停止します。
③	閉スイッチ	シャッターが下降します。
④	送信ランプ (赤)	開・停止・閉スイッチを押している間点滅します。電池交換時期が近づくと暗くなると同時に点滅間隔が短くなります。早めの電池交換をお願いします。(電池がなくなるとランプはつかなくなり、シャッターの操作ができなくなります)(交換方法についてはP.8をご参照ください)

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

▲ 注意

- 電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

操作のしかた

※この章では、「イタリア・クワトロ」の操作のしかたについて説明しています。

ワイヤレス壁スイッチの操作のしかた

▲ 注 意

- 開閉の際は周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

■ワイヤレス壁スイッチからの操作のしかた

【開ける場合】

- 開スイッチ①を押してください。
シャッターが上昇し、開スイッチ①を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

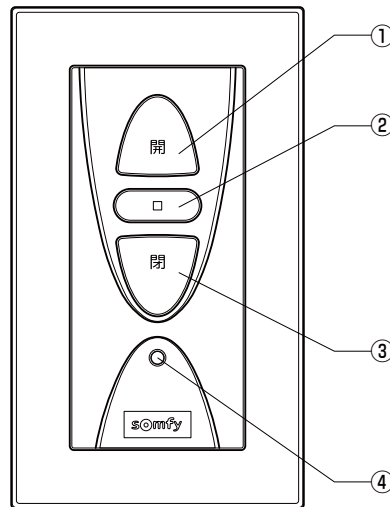
【閉める場合】

- 閉スイッチ③を押してください。
シャッターが下降し、閉スイッチ③を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【途中で止める場合】

- 停止スイッチ②を押してください。
シャッターが途中停止し、停止スイッチ②を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

■ワイヤレス壁スイッチ



●ワイヤレス壁スイッチのなまえ

番号	なまえ
①	開スイッチ
②	停止スイッチ
③	閉スイッチ
④	送信ランプ（赤）

電池交換のしかた

※この章では、ワイヤレス壁スイッチの電池交換のしかたについて説明しています。

1

電池交換時期

- ※開・停止・閉スイッチを押している間、送信ランプ（赤）が点滅しますが、電池交換時期が近づくと送信ランプ（赤）は暗くなると同時に点滅間隔が短くなります。早めに新品の電池に交換してください。
- ※電池がなくなるとランプはつかなくなり、シャッターの操作ができなくなります。



2

使用電池

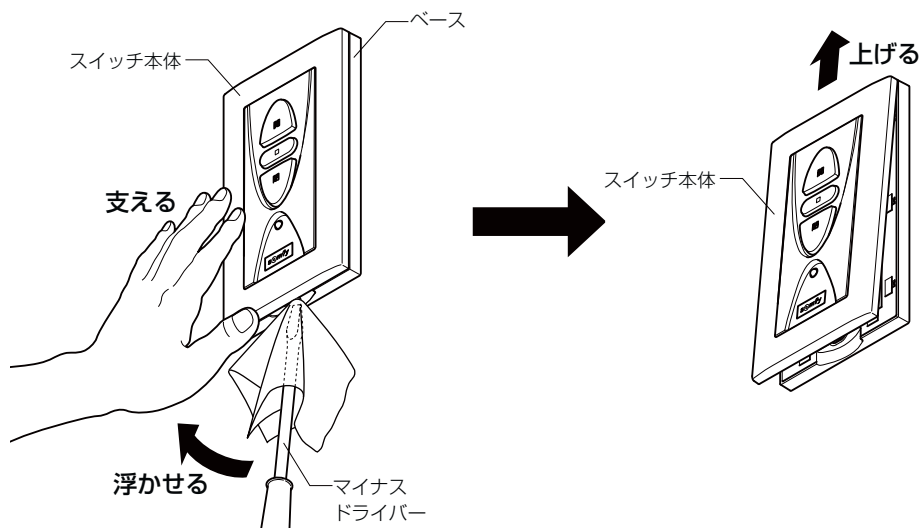
- ※リチウム電池：CR2430又はCR2032をご使用ください。
- ※電池寿命の目安（1日4回、1回2秒間スイッチを押した場合）
CR2430…約2年
CR2032…約1年

3

交換のしかた

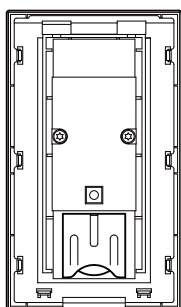
■電池の取外し

①ワイヤレス壁スイッチのスイッチ本体を外します。ワイヤレス壁スイッチの下部の溝に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込み、スイッチ本体を押し上げてください。スイッチ本体が浮いたら、上方向に上げてください。スイッチ本体が外れます。（スイッチ本体が落ちないように手で支えてください。）



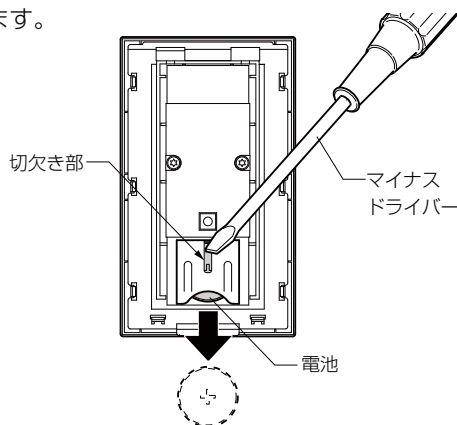
②スイッチ本体を裏返します。

【スイッチ本体裏面】



③電池を外します。

電池ホルダーの切欠き部にマイナスドライバーなどを差し込み、電池を下方向にスライドさせてください。電池が外れます。

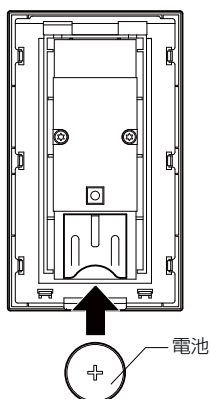


■電池の取付け

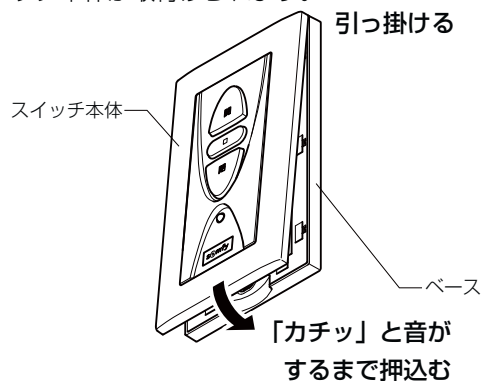
①新しい電池を取付けます。新しい電池を上方向に押し込んでください。電池が取付けられます。

※下図のようにプラス面を上に入れてください。

【スイッチ本体裏面】



②スイッチ本体を取付けます。ベース上部のふたつのツメとスイッチ本体側の穴を合わせて、ベースにスイッチ本体を引っ掛けてください。そのまま、スイッチ本体の下部を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。スイッチ本体が取付けられます。



お願い

●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因になります。

幅木ロック機構の使い方

※この章では、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1

幅木ロックとは

- 「イタリア・クワトロ」は自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式のロックを用意しています。このロックを幅木ロックといいます。

お願い

- おやすみ又は外出の際は、安全のため、「イタリア・クワトロ」を閉めて幅木ロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

2

幅木ロックの操作のしかた

■施錠方法

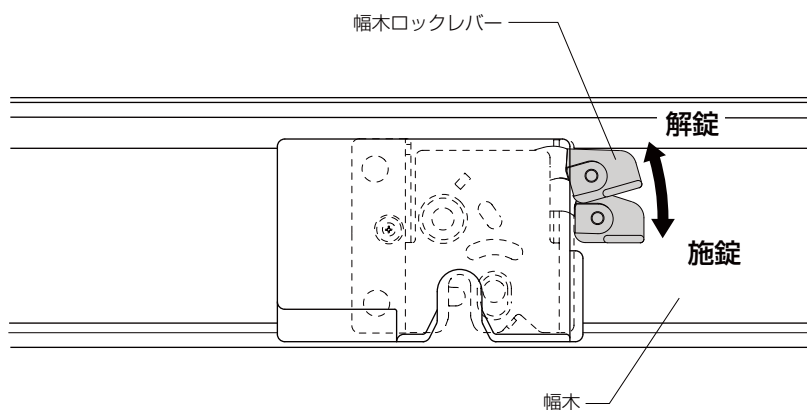
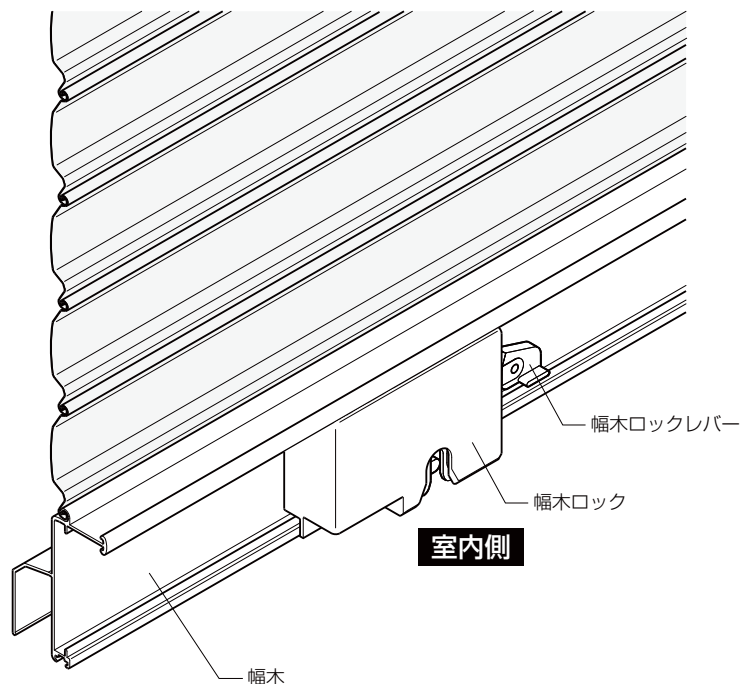
- ①シャッターを閉めます。
- ②幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

■解錠方法

- 幅木ロックレバーを解錠側に倒します。

お願い

- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



停電時開閉機構の使い方

※この章では手動での開閉のしかたについて説明しています。

1

停電時開閉機構とは

※「イタリア・クワトロ」は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

お願い

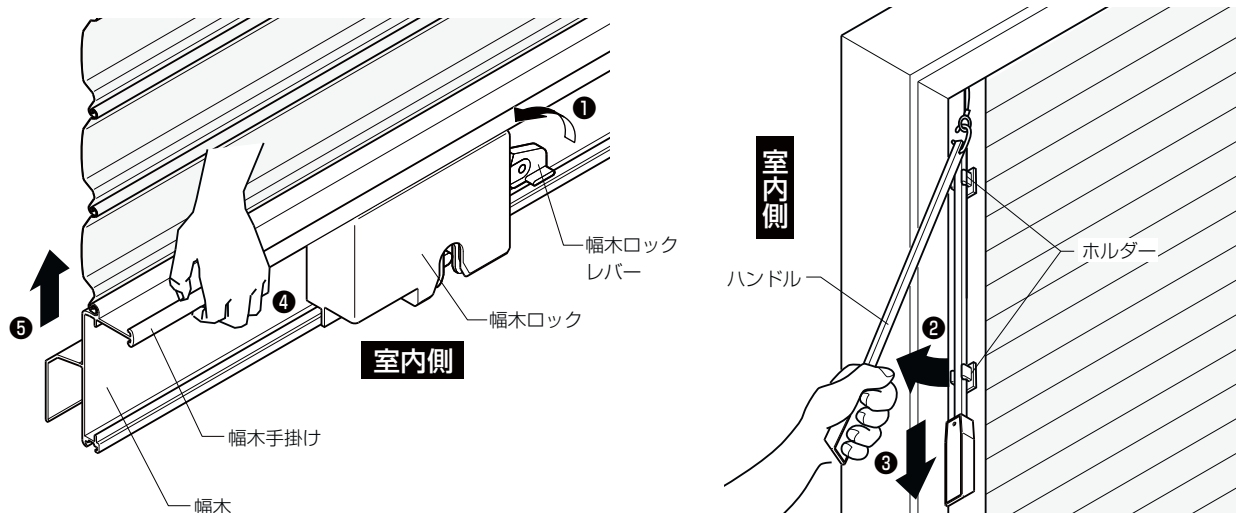
- 停電時開閉機構は非常時にも必ず開閉できるように、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

※一部サイズには停電時開閉機構が付いていません。

2

開閉のしかた

- ① サッシの障子を開き、幅木ロックレバーを解除します。
- ② ハンドルをホルダーから外してください。
- ③ ハンドルを下方に引いてください。
(ハンドルを下方に引くとスラットが巻上がり大きな音が発生する場合がありますが故障ではありません。)
- ④ 幅木手掛けを持ちます。
- ⑤ そのまま、幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。
- ⑥ 再度ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。(ハンドルはホルダーに固定してください。)



3

停電復帰後の操作のしかた

- ※停電復帰後も通常通りで使用ください。
- ※停電復帰後の4回の開閉動作中は、上下限停止位置の点検機能が働きます。点検機能動作中はセーフティストップシステムは全域で停止のみとなります。又、全閉位置で止まるとき、幅木が下枠に当たり少し反転して止まります。

点検とお手入れ

1

点検

- 「イタリア・クワトロ」は少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 「イタリア・クワトロ」を安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
- セーフティストップシステムの点検を行う場合は、必ず「セーフティストップシステムの作動点検」の手順にしたがってください。本手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

■点検箇所

番号	点検部分	点検内容
1	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないようなキズや曲がりなどの変形、異常な音はないか。
2	セーフティストップ システムの作動	セーフティストップシステムが作動するか本章の点検手順にしたがってください。
3	停電時開閉	「停電時開閉機構の使い方」にしたがい、手動で開閉できるか。

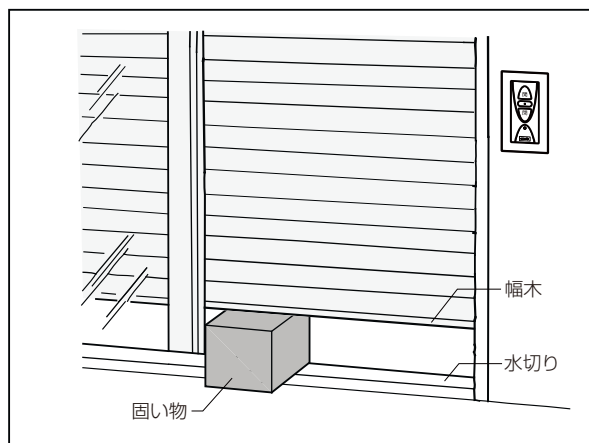
2

セーフティストップシステムの作動点検

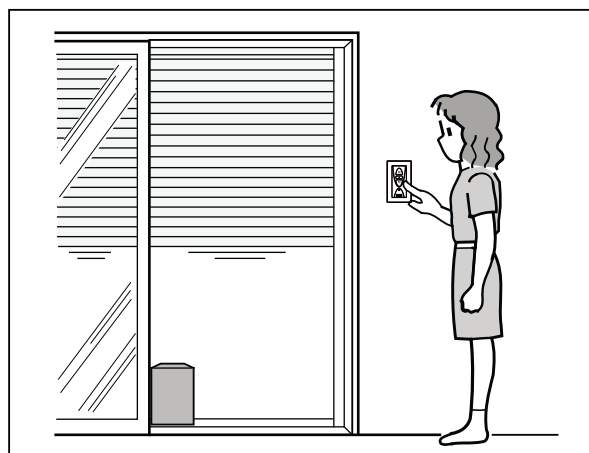
▲ 注意

- セーフティストップシステムを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手をはさまれてケガをするおそれがあります。
- セーフティストップシステムの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらワイヤレス壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

- ①シャッターを全開にしてください。
- ②水切り中央に300mm程度の高さのある固い物を置いてください。
(水切りから約50mmまでは反転しません。)
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
- ③ワイヤレス壁スイッチの閉スイッチを押してください。
→シャッターが下降します。



- ④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇し、開口上部約50mmのところまで停止します。
- ⑤シャッターが停止していることを確認してから水切りの上の固い物を取除いてください。
- ⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店又は当社お客様相談センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。



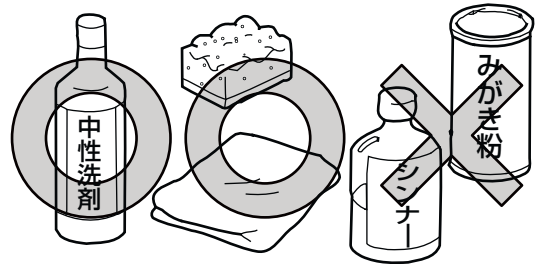
3

お手入れのしかた

- 「イタリア」はアルミニウムおよび鋼板、「クワトロ」はアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、シミ、腐食、作動不良などの原因になりますので汚れに応じて定期的に掃除してください。
- 「イタリア・クワトロ」下部の水切り部やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、シミ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

- 「イタリア・クワトロ」のお手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ペラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



① 「イタリア・クワトロ」の表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。

② ガイドレール内部や水切り部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



③ 以下の要領で汚れを落としてください。

【あまり汚れがひどくない部分】

・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

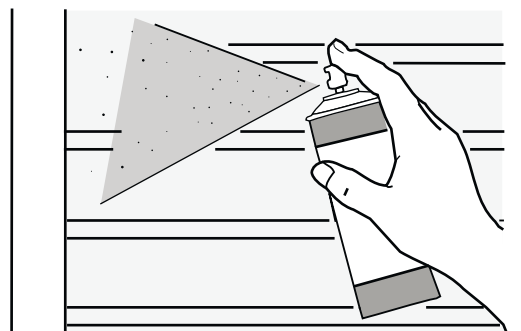
【特に汚れがひどい部分】

・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



④ 鋼板部にサビがでた場合

・まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

※ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。

シャッターが動かない場合、ワイヤレス壁スイッチの停止スイッチを押してから、下表「処置のしかた」にしたがってください。

処置のしかた

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	—
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
スイッチは確実に押ししましたか？	本書の「操作のしかた」を参照して操作してください。	P.7
幅木ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.10
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	—
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに「イタリア・クワトロ」の使用を中止し、「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。	P.1
5分以上連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
連続でスイッチを押していませんか？	スイッチを押してから約5秒後に2秒間操作できなくなります。少し待ってからスイッチを押してください。	—
ワイヤレス壁スイッチの電池が切れていませんか？	本書の「電池交換のしかた」を参照して電池交換をしてください。	P.7・8
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	—
電池の向きを間違えていませんか？	本書の「電池交換のしかた」を参照して電池の向きを入れかえてください。	P.7・8
無線機を使っていませんか？	シャッターのそばで無線機は使用しないでください。	—
高周波ノイズの出る物が近くにありませんか？	シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。	—

●上記項目を確認してもシャッターが動かない場合は、一度電源を入れなおしてください。

●お問合わせ先については、P.1「重要なお知らせ」を参照してください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにお問い合わせください。

2012年2月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

Life Assist商品のご購入・使い方などのご相談は、Life Assistお問い合わせ窓口まで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-694-614

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

業務用	MX2000	11	2019.7.20 発行
-----	--------	----	--------------



*

0002XM*